

お知らせ

◆2026

周作クラブ「新年会」のご案内

日時 1月31日(土)

12時15分〜14時15分

※12時受付開始。それ以前は会場にお入りいただけません。

会場 ラメンサジャスミン

(La Mainsa Jamin)

東京都渋谷区広尾4の2の24

聖心グロバルプラザ1F

TEL 03・6712・6757

※地下鉄東京メトロ日比谷線「広尾駅」出口4から徒歩2分。出口を出て右方向に。最初の角を右折

そして次の角の左が聖心グロバルプラザです。

参加費 7,000円

▼恒例の福引には、今年も周作クラブ

ならではの豪華景品をご用意してあります。出席希望者は同封のハガキ

でお申込みください。

お詫びと訂正

前号(100号)中、以下に誤りがありました。筆者に深くお詫び申し上げます。

▽8面、高尾直子氏の特別寄稿「フランススコ教皇さまに謁見する」の2段目、「15時にホテルへ到着後、翌日に訪問する教育文化省の建物と、その翌々日にフランススコ教皇さまと謁見する建物を30分ほど石畳を歩いた。」の文末は「建物を確認するため30分

はな(訛)された」が筆者の文章でした。お詫びして訂正させていただきます。

ど石畳を歩いた」が正しく、傍点の部分が抜け落ちてしまいました。

3段目の後ろから14行目の文章は「愛弟子のデ・ルカ・レンゾ神父と抱擁された。互いの母国語であるスペイン語で言葉を交わされ、その喜びは私たちにも伝わって。緊張が和らぐ。教皇さまはその後イタリア語でこう話された」とありますが、正しくは「愛弟子のデ・ルカ・レンゾ神父と抱擁し母国語でお話をされる。その喜びは私たちにも伝わり、緊張が和らぐ。教皇さまは

◆2026
「遠藤文学・原点の旅」(予定)
毎年5月に行われている「遠藤文学・原点の旅」を、今年は、
5月17日(日)〜18日(月)
に予定しています。
※今回の旅は東京の中の遠藤周作ゆかりの地(最終の訪問先は、遠藤先生の眠る四谷の聖イグナチオ教会)です。
詳細は次号会報で発表いたします。予定を空けてお待ちいただければ幸いです。

◆2026
10時〜17時
▽主な展示資料(予定)……聖フィリポ寮庶務日誌/書簡(吉満義彦宛、井深八重7宛)ほか。
▽主催 聖心女子大学キリスト教文化研究所/同グロバル共生研究所
jimukyosei@u-sacredheart.ac.jp
TEL 03・3407・5811

◆遠藤関連の展示会
岩下壮一という多面体
—20世紀のフランススコ・ザビエル—
※現在第2期(1925〜1940)展示中
会場 聖心女子大学4号館/聖心グロバルプラザ BE*hive特別展示室
渋谷区広尾4の2の24(地下鉄日比谷線「広尾」駅4番出口から徒歩1分)
会期 9月26日〜12月23日(月〜土)

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。
年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「新年会」「周作忌」「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」、そして「オンライン懇親会」にも参加できます。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返し、資料と会費振込用紙をお送りします。

はな(訛)された」が筆者の文章でした。お詫びして訂正させていただきます。

▽また、9面からの「アンケート・回答結果」にも誤記載がありました。

大澤眞里氏(9P3段目)の「作家の理想心理を」は「作家の深層心理を」が、平野倫明氏(12P4段目)の「古源世の中に」は「こげん世の中」が筆者の表記でした。ここに深くお詫びし、遅ればせながら訂正させていただきます。(会報編集部)

＊編集後記＊

▼100号記念号(前号)を発刊し、皆様からは概ね好評をいただき、編集部員はじめ各委員、ほっとしております。

が、何箇所か間違いをご指摘いただき、今号でお詫びと訂正記事を掲載させていただきました。このほかにも、特に「アンケート集計結果」では確認が取れなかったため、間違いや誤字など多いと思われます。もし、ご自分の箇所が間違っていると思われる方は、周作クラブまで、お申し出頂ければ、お詫びして訂正させていただきますので、どうぞ、ご遠慮なくご連絡ください。本当に失礼申し上げます。(亀)

▼今号から副編集人を務めることとなりました。100号という大きな節目を越え、新たな歩みが始まるタイミングで編集に加わることとなり、身の引き締まる思いです。昨年3月までは町田市民文学館で学芸員として勤務し、『侍』展などを担当いたしました。現在は別の施設に移っておりますが、文学資料の保存や展示に関する仕事を続けています。

一会員として、みなさまとのお縁が続いていることをうれしく思っております。これまでの経験を生かしながら、みなさまに楽しんでいただける誌面づくりに取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。(杉)

「周作クラブ」第101号

2025年11月発行

■編集人 亀岡園子

■副編集人 丸田明利、杉本佳奈

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku_club@yahoo.co.jp